



第20号

平成5年1月20日

発行所

坂田郡近江町飯12-3

天の川沿岸土地改良区

☎(0749) 52-0067(代)

西部南地区 飯・朝妻・筑摩・上多良・中多良・下多良

県営ほ場整備事業竣工式典挙行

昭和58年度着工、一六九ha

西部南地区県営ほ場整備事業が竣工し、一六九haの新し
いまちづくりの基盤ができた。
した。

十二月三日の吉日を選び、
米原町中央公民館において各
工区の代表(飯、朝妻、筑摩、
上多良、中多良、下多良)を
始め、来賓多数出席のもと竣
工式典を挙行し、十年にわた
る関係者の努力がめでたく実
りました。

来賓として県知事代理ほか
県関係者、近畿農政局、県選
出各国会議員代理、近江、米
原両町長、隣接土地改良区理
事長、その他工事関係者など
多数の皆様の臨席のもと、粕
洲理事長が式辞を述べ、あと
長浜県事務所土地改良課藤田
芳和課長から工事経過報告が
行われ、主要工事施工業者十
一社に感謝状を贈呈、山下、
宇野、武村、河本、須藤、岡

部各国会議員及び、沢野、伊
夫貴各県会議員からの祝電を
披露し厳粛に式典を挙行しま
した。



これより先、九時三〇分か
ら、筑摩蓮池公園内幹線農道
横の記念碑前で、神官による

お疲れを受け工事の無事竣工
を感謝し、記念碑を除幕西部
を感謝し、記念碑を除幕西部

◇工事経過報告◇

潤いと活力ある農村社会形成を

十八億八九〇〇万円を投入

長浜県事務所土地改良課長 藤田 芳和

美しい冬晴れの師走のこの
よき日に、多数のご来賓並び
に地元関係者のご臨席を仰ぎ
西部南地区県営ほ場整備事業
の竣工式が挙行されますこと
に、心からお祝いを申しあげ
ます。また、本日、事業の経
過をご報告できますことは、
誠に光栄とするところでござ
います。今日までの地元役員
さんをはじめ関係各位の多大
のご理解とご協力に対し、深
く感謝を申し上げる次第でござ
います。さて、当地区は湖
北地方の穀倉地帯として古く
から農業の盛んなところであ

りませんが、近年の厳しい国際
情勢の中、生産性の高い近代
的な農業への転換が急務とな
ってまいりまして、これを契
機に天の川沿岸土地改良区、
米原町、近江町並びに関係農
家の熱意と、日夜を分かたぬ
ご尽力により、県営ほ場整備
事業として昭和五八年度に着
手して以来、十ヶ年の歳月を
経て今日の日を迎えた次第で
ございます。ここで事業の経
過をたどりますと、昭和五七
年度に調査計画を樹立し、そ
の翌年度に国の事業採択を受
け、同年朝妻筑摩工区の一五

・七haの区画整理工事に、事業費約六千三百万円で着工したのを皮切りに、順次、中多良工区、上多良工区、飯工区へと施行を進めたところでございます。特に、昭和六二年度には当地区の最盛期となり、事業費約三億四千六百万円をもって、三七・一haの施行となりました。昭和六三年度には、三三・五haを施行して面的工事は全て完了しましたが、JR北陸本線軌道敷下を横断する跨道橋や農道舗装工事、また農地の汎用性を高めるための新技術による暗渠排水工事、更に、地元の皆様方の御理解により、土地改良関連環境保全事業による蓮池の親水性公園の造成にも対応して参ったところでございます。一方換地処分につきましては、朝妻筑摩工区の昭和六三年度完了に始まり、中多良、下多良工区と次々に完了し、平成三年度の飯工区を最後にすべて完了いたしました。本地区におきます総事業費は、一八億八千九百万円を要し、近代的な生産性の高い農用地一六九haが誕生したのでございます。幾多の難工事にも大きな事故もなく、今日の日を迎えられましたのも、農林水産省

をはじめ米原町、近江町ご当局のご協力は言うまでもなく、土地改良区の役員をはじめ関係農家の皆様の筆舌に尽くせないご尽力、更には、直接工事の施工に当たっていただきました関係業者のご協力の賜でございます。改めて心から感謝を申し上げます。特に現今の農業情勢は内外共に厳しいものがございますが、

＝お祝いのうた＝
農地と施設の有効利用により経営の安定を

近畿農政局建設部長 嶋田 誠

本日、ここに県宮は場整備事業「天の川西部南」地区の竣工式が盛大に挙行されるに当たり一言御祝いの言葉を申し上げます。平素から皆様方には、地域の農業農村整備事業の推進に格別の御尽力を賜っておりますことにつきまして、心から感謝申し上げます。次第であります。ご承知のように、わが国の農業・農村は、国民生活にとって最も基礎的な物資である食料の安定供給をはじめ、活力ある地域社会の形成、国土・自然環境の保全などを通じて、わが国の経済社会の発展と国民生活の安定に重要な役割を果しております。

今後とも、整備された農地を有効に活用していただき、地域の特性を生かした足腰の強い地域農業を確立していただきますよう、一層の御尽力をお願いいたし、潤いと活力のある農村社会が形成されますことを祈念いたしまして、簡単ではございますが、事業の経過報告とさせていただきます。

ます。しかしながら、今日我が国農業・農村は、担い手の減少、国際化の進展、都市化・混住化の進行など、様々な課題に直面しております。また、ガット・ウルグアイラウンドの場で農業保護の在り方等について論議がなされている一方、地球環境問題が世界的に重要なテーマとなるなど、わが国の食料・農業・農村を取り巻く環境は大きな転換期に差しかかっております。このような状況を踏まえ、農林水産省では一年余にわたって幅広い検討を行い、本年六月に「新しい食料・農業・農村政策の方向」をとりまとめ、

公表したところであります。このとりまとめにおきましては、わが国の経済社会における農業・農村の重要性とその果たしている役割を明確に位置付けるとともに、食料・農業・農村政策について、国民的視点を踏まえた上での今後の政策展開の基本的方向を示しております。今後、この方向に沿って制度、政策を見直し、二一世紀時代にふさわしい食料・農業・農村政策を着実に推進していかねければなりません。なかでも、農業農村整備事業は、これらの目標を実現するための最も有効な手段として、これまで以上に強力に推進することが、期待されております。このため、

農林水産省の平成五年度予算概算要求においては、特に農業農村整備事業に力点を置いており、平成五年度から一四年度の十ヶ年間に、総額四三兆円の事業費を投資するという第四次土地改良長期計画の策定をはじめ、各種新規制度の拡充、創設、必要な年度予算額の確保等を盛り込んでおります。これらの要求実現のため、皆様方の力強い御支援をお願いする次第であります。さて、本事業地域は、琵琶湖

の東北部に位置し、天の川下流域に開けた県下でも有数の穀倉地帯であり、古くから米作を中心とした農業が営まれてきました。しかしながら、耕地は狭少、不整形で道水路が不備に加えて、農業用水は、天の川の河川水、地下水、および琵琶湖を水源としていた

ましたが、用水施設の老朽化と琵琶湖総合開発に伴う湖水位の低下の影響による用水不足等のため、農業の近代化が阻まれておりました。このため、琵琶湖を水源とする用水改良事業として、昭和五五年、県営かんがい排水事業天の川地区が水資源開発公団事業の補償工事と合併施工により着工、また、農業の生産基盤の整備として昭和五八年に本地区が着工し、農地の集団化、機械化営農と汎用農地化を図り、併せて農業生産性の向上と農業経営の安定に資する目的で、総額一九億円の費用を投じて、一六九ヘクタールに及ぶほ場整備がこのたび竣工の運びに至ったところであります。厳しい財政事情の下での実施でありましたが、本日ここに竣工の日を迎えられましたことは、ひとえに滋賀県ご当局のご尽力並びに米原町、近江

町ご当局及び土地改良区の皆様方の不断の熱意とご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。農村の活力は、活気ある農業が確立されていることから生まれます。先に述べました新政策では、「土地利用型農業の経営の展望」及び「経営体の育成と農地の効率的利用」が示され、担い手への一層の土地利用の集積が求められています。基礎整備はその強力な手段です。こうした時に、本事業が竣工しましたことは、誠に意義深いものがあり、整備された農地と施設が本地区における農業の生産性の向上と農業経営の安定に寄与することは基より、地域の発展にも大きく貢献するものと確信いたしております。県営かんがい排水事業天の川地区につきましては、一部事業を残しておりますが、一日も早く完成し事業効果が一層発現できるように努力をする所存です。地元関係各位におかれましては、今後も整備された農地と施設の有効利用を積極的に図り、中核農家や高効率の生産組織を育成し、農業のより一層の振興と活力ある明るい農村社会

21世紀へ向って活力あるまちづくり推進を

滋賀県知事 稲葉 稔

本日、ここに天の川西部南地区県営ほ場整備事業の竣工式が挙行される運びとなりましたことに、心からお祝い申し上げます。また、本日お集まりの皆様方には、平素から県政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し



新設の飯アンダー ▶

の建設にご尽力いただきましたよう、念願する次第であります。おわりにあたり、幾多の困難を乗り越えて、本日まで事業の推進にご尽力されました

た関係各位に重ねて深く敬意を表しますとともに、本地域における農業・農村の益々の発展を祈念致しまして、お祝いの詞と致します。

滋賀県知事 稲葉 稔
 上げます。はじめに、びわこ空港につきましては昨年、国の第六次空港整備五ヶ年計画に予定事業として組み入れられ、大きな一歩を踏み出しました。これもひとえに、貴団体をはじめ、幅広い多くの方々のご支援・ご協力のお陰であり、心より深く感謝とお礼を申し上げる次第でございます。びわこ空港は、二一世紀の時代の向けて、日本の航空ネットワークの一翼を担い、県の総合交通ネットワークの基幹事業として、また、新しい地域づくり・まちづくりの要となるものであり、県あげて取り組んでいるところでございます。今後とも、びわこ空港につきまして、格別のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。さて当地区のほ場整備事業は、昭和五八年度着工以来、関係農家の皆様が一致

団結して事業推進に努められ、本日、めでたく竣工の式典を迎えられる運びとなりました。改めて、お祝い申し上げますのでございます。ほ場整備事業は、ご承知のとおり、農業生産の合理化のために、区画形状、道路、用排水路、暗渠排水施設などを整備するハード面と、個人財産の所有権移転を伴う農地の集団化を行う換地などのソフト面を、一体的に行う事業であり、ほ場整備区域内の全員の合意により事業推進が図られるものであります。本日を迎えるまでには、関係の皆様方には大変なご苦労があったものとお察し、心から敬意を表する次第でございます。ところで今日の農業を取り巻く情勢は、対外的には、国際社会への協調や責任を問われ、ガット・ウルグアイラウンドの成り行きが気にかかるところであり、国内においては、農産物の市場価格の低迷や後継者問題など、大変むずかしい状況に直面しております。このような状況を踏まえ、農林水産省は本年六月に「新しい食料・農業・農村政策の方向」、いわゆる「新政策」を取りまとめ、我が国の経済社会における農

業・農村の重要性和、その果たしている役割を明確に位置づけるとともに、二一世紀という新しい時代に向けて、稲作を中心とする土地利用型農業の経営展望を示し、経営感覚に優れた効率的・安定的な経営体の育成、適正な土地利用の確保と農村の定住条件の整備などについて政策の展開方向を示しております。一方、県におきましては、従来から生産基盤の整備はもとより、集落営農ビジョンの推進を柱として、農業生産組織の育成に努めるとともに、農地の流動化、集団化、農作業受委託の推進などの構造政策を積極的に推し進め、農業と農村の活性化に取り組んでおります。同時に農村の環境整備につきましても、農村の良さを生かすとともに、都市並の整備水準を目ざし、農業集落排水事業や農村総合整備モデル事業などの諸事業を積極的に進めているところであります。こうした情勢の中で、当地区のほ場整備事業が完了を迎えることとなったわけであり、今後さらに農業農村が抱えている数多くの課題に対し、行政と土地改良区、農家が一体となって問題解決の知恵を

出し合い、二一世紀に向かつて、活力ある住みよいまちづくりに努めてまいりたいと存じますので、皆様方のなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人も輝き自然も輝く 豊かなふるさとのもちづくり推進を

米原町長 山川 茂

軒先の赤かぶの色に初冬の気配を感じる今日の佳き日を迎え、先程は筑摩地先現地にて天の川西部南地区県営ほ場整備事業竣工記念碑の除幕式を厳粛に取り行われ、また、ここに来賓各位及び関係者多数のご出席のもと、盛大に竣工式を挙行されるに当り一言お祝いの言葉を申し上げます。本天の川西部南地区は近江町飯工区を含む米原町西部の穀倉地帯一六九haを事業区域として、昭和五八年関係各位の事業推進の熱意が実り、米原町に於てはまず朝妻地区より取りくみをして頂きました。以来、長い年月にわたり組合員の合意形成から工事の推進、換地処分等数多くの困難、予期せざる事態等前面に立ちはだかる諸問題に対し、関係役員の皆様の心血を注がれたご苦労に対し、心から敬

最後にりましたが、本日お集まりの皆様方のご健勝と、天の川沿岸土地改良区のままの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

意を表しますと共に、陰に陽にこれを支えて指導下さいました近畿農政局、県関係機関の皆様及び天の川沿岸土地改良区の皆様に対し深くお礼を申し上げます。

本事業の完成とかん排事業の推進により、お陰様で両町の農業基盤整備による生産性向上のための基礎的条件が整い、併せて、我が国土、及び自然環境の保全と緑豊かなふるさとのもちづくりのために果てしない希望を与え、地域社会整備推進のため力強い第一歩を与えていただくことができました。いまわが国には農業農村をめぐる環境は厳しく例外なき関税化という波が押し寄せ、次第に波音が高くなつてきています。また、食糧制度見直し、減反政策、農産物価格低迷、後継者問題など克服しなければならぬ問題が

多くありますが、本日まで本事業を推進し完成に導かれた関係各位の英知と努力によって完成した優良農地とこれに給水するびわ湖の豊潤な用水とを最大限に活用されて、低コスト農業を推進し、農業

謝辞

英知を結集して低コスト化・規模拡大へ

理事長 粕淵 光夫

万山晩秋も深まり初冬の感一入深まる本日、近畿農政局を始めとして多くの関係の皆様のご来賓をお迎えいたし、県営天の川西部南地区ほ場整備事業竣工式を盛大に挙行できますことは私の誠に光栄且感激の極みでございます。本

式典に公私共に多用にも抱わらず迫せ参じ御臨席下さいましたご来賓及び関係者に対しまして有難く厚く御礼を申し上げます。

顧り見ますと、事業開始は昭和五十八年であり、当改良区の、天の川地区かんがい排水事業、天の川西部地区ほ場整備事業に次いで、の県営事業としての発足であります。

この事業開始に当っては地域の将来にわたる農業経営基盤確立のため、各集落の推進態勢づくりから組合結成、そして組合長を中心とした組合員の統ひない一致協力によりこの事業は見事に実を結び、この様に立派に完工いたしました。これまでの組合員の努力もさることながら、主戦力ともいべき各年次の農水省、

大蔵省、近畿農政局、県庁及び長浜県事務所関係の多くの皆さま方の深いご理解と、計画する事業に対しての財政支援助置等のお庇によるものと深く感謝申しあげ、更には米原・近江両町の、事業執行に実なる力を与えて戴きましたこと心よりお礼申しあげます次第であります。

平成二年には、ほ場整備事業と共に、用水確保のためのかん排事業の併行進捗と集積率の奏功により、農林水産大臣表彰受賞の栄与を賜りましたことは本改良区の妙なる誇りと致すところであり、新たななる金字塔を打ち樹てることが出来ました。

本日の竣工の喜びへと導いて下さった設計及び工事関係の皆様方には、幾多の困難を克服し総力を挙げての事業完成への尊いご貢献に対しても、深甚なる敬意と感謝を表するものであります。

さて、眼を外に転じますとガット・ウルグアイラウンドの成否を左右する農業保護削減交渉は新しい局面を迎えようとしています。我が国の工業製品輸出に対する反撃に、安いコメ輸入へと押しこんでくる事態に入ることには必至の



七米幹線農道

様相であります。そこで、日本の稲作経営と機械化を見直しつゝ、関税率の低い間に農業自立措置とその対応をどうするかが大きな問題点となると思われまます。

あくまでも日本人としての主食はコメであり、品質的にも安全でうまいコメ、の二利点を前面に打ち出しつつ、規模拡大、低コスト化という最大の防波堤を築かなくてはならないと思ひます。どのような国際状況下にあつても、苦労してつくり上げた土地基盤をフルに活用し、補完事業をとり入れながら、今こそ平成農民魂を発揮しなければなりません。

天与の恵みの中の平和産業として、自然景観を守りながらの土地利用と共に、諸条件を整備し安定した経営体を保ちながら、農業農村の公益的役割の評価を高めることが必要であります。

これからの改良区のあり方としていくつかの点を問われていますが、従来の役割を一步進めて新しい機能を持たせた考え方に立ち、営農助言を嚆矢として踏張っていかねればならないけたたしい警鐘が耳朶に響きこんできてい

ます。

この記念すべき日を基点にして組合員一同は、英知を結集して改良区発展のため努力致し各位の御恩に酬い応えていきたいと思ひます。今後と



平成五年を

迎えて

理事長 粕淵 光夫

平成四年十二月三日

も格別なる温かいご指導、ご支援を懇願いたします。御臨席の皆様方のご清福を祈念申しあげ謝辞といたしませす。

明けましてお目出度う存じます。謹んで平成五年の新春を迎え御健勝をお慶び申します。併せて昨年中は、何かと格別の御厚志を賜り、温かい御協力を当改良区に戴き心から御礼と感謝を申し上げます。

改良区積年の事業も、日を追って完工の道を辿っています。採択された県営かんばい、県営ほ場整備の根幹事業も事業費の増中の中で、国県の予算も略々順調に認定されて、少々の補完工事は残りますが、平成五年度で終る予定でございます。

昨午十二月に天の川西部南地区のは場整備事業の完工式を挙行させて戴きました関係各工区役員の方々の日夜を分たぬ御辛勞に依つて十年の長きに亘る歳月の中で完工までに漕ぎつけて戴き心よ

り役員さんのご苦勞に對しまして敬意と感謝を申しあげます。一方で農業農村に暗いニュースが飛びかっています。不安材料を投げかけるマスコミの現状ですが、「欧米に追い付け追い越せ」「豊かな国をつくらう」という昭和の国是を達成した平成日本です。昨年のバブル崩壊による経済混乱は今年も後遺症と不安を映しています。高齢化社会の急激な変化が進み、外には東西冷戦時代の終焉、地域経済統合の進展と大きな構造転換の波が渦を巻いていて、豊かで活力ある成熟した農業農村社会の実現が強く求められています。今私達は莫大な経費を投資しながら今後の長期的視点に立って新しい目標を樹て活力ある行動力と農耕民族の

誇りを持ち、環境保全をはかりながら農地、田園を基点とする修景機能を配慮した住みよい豊かなまちづくりのためみんなの知恵を結集して古来より瑞穂の国と呼ばれたこの地に新たな光をあててゆく努力を続けてまいりたいと思ひます。皆々様の御健勝を祈ります。

合掌

四年度県営事業費

九億五千二百万円に

本年度県営事業は、昨年よりも一億円減の九億五千二百万円の事業費を投じて進めています。番場・多和田・日光寺の区画整理が終り、岩脇工区に着手、南幹線送水管工事の岩脇地先新幹線下横断と東海道上り本線沿い五二〇線の管理設も始まります。西円寺で着工が遅れた讃岐地区は最後の仕上げに入っています。

本年度実施の事業の概要は次の通りです。(前号で掲載分は除く)

- 1. かん排事業
 - 。水管理制御施設工事
 - 北陸線から上流部の各分水工七ヶ所、息長・番場揚水機場の制御施設工事、合同

井堰テレメータ(流量遠方監視装置)

請負 ㈱明電舎関西支社
工期 六月三十日
。南幹線水路J R横断工事 (委託)

北陸線井戸町踏切北側で北陸線、新幹線、県道の地下推進(五〇〇ミリ鞘管)
請負 西日本旅客鉄道㈱
工期 八月二十日
。南幹線水路第十六工区工区上多良側からJ Rを横断し岩脇地先東海道上り線沿いに五二〇m送水管(四〇〇ミリ)敷設
請負 田中建設㈱
工期 七月三十一日
。揚水機場内整備工事
舗装及び縁石・植栽工事
請負 萩原英治
工期 三月十日

2. ほ場整備事業
。西部南地区
暗渠排水工事
請負 川森建設
工期 十二月二十日
。東部地区
暗渠排水工事
請負 米沢組
工期 三月二十日
。東部南地区
西円寺第三工区工事
区画整理 三・八 ha

- 請負 川森組
工期 三月三十一日
- 岩脇第一工区工事
区画整理 二・〇 ha
請負 山豊建設
工期 四月二十日
- ゲート工事 (四門)
請負 大同機工機
工期 三月十五日
- 排水路 J R 横断工事(委託)
ボックスカルバート 二七 m
請負 西日本旅客鉄道機
工期 八月三十一日
- 寺倉第六工区工事
暗渠排水 一三・四 ha
請負 本田建設
工期 三月十日
- 寺倉第七工区工事
農道舗装 六四二 m
請負 西尾土建
工期 二月二十八日
- 岩脇第二工区工事
区画整理 三・五 ha
請負 松塚工務店
工期 六月十日
- 西円寺第五工区工事
農道舗装(寺倉、西円寺)
九七二 m
請負 青木工務店
工期 二月二十八日

四年度 事業概況

県営、農業農村整備事業は昨年大きく東へ移動し、東部地区は仕上げ作業の段階に達し、東部南地区では西円寺・岩脇工区の進展の年となりました。

◎かんがい排水事業

三年度から取り組んでいる



送水管は J R 下を東へ ▶

水管理集中制御施設は、中央装置の機器類の据付けが終わり、子局装置となる各分水工のうち、北陸本線から下流部の七ヶ所は完成し、中央との接続も完了し作動するようになりしました。これらの各分水工は、敷地を舗装、周囲のフェンスをとり付けました。隣

接地の方には不便もあろうかと思いますが電気設備による危険防止のためご理解をお願いします。

本年は、上流部の分水工七ヶ所・息長・番場揚水機場、天の川合同井堰(水量計測のみ)の十ヶ所の子局装置を建設し、中央装置とケーブルで接続、敷地舗装とフェンスの取付工事を実施中で六月末には完成します。

送水管のループ化で最後に残った井戸踏切横の J R の地下推進工事と、岩脇地先五二〇の送水管工事を実施しあと国 8 下附近は五年度施工予定です。

揚水機場は場内整備に着手植樹と舗装が進められています。毎年、草が繁り処理に困っていましたが敷地内がきれいに整備されます。かん排水事業竣工記念碑を場内に建立の予定で、その用地は今回残り五年度予算で建設し事業竣工式を挙行したいと思います。

◎ほ場整備事業

○多和田工区

昭和六十三年から進めてきましたほ場整備事業も漸く完成の域に達し、光が見えてきた感じです。境界杭は打ち終り四年度確定測量を新明測量が実施、五年度は約十二 ha

の暗渠排水を実施して、換地計画決定会議を経て換地処分登記をすることに なります。名実ともに完工へ向けて皆様の御協力をお願いします。

○日光寺工区

面工事は終了し確定測量も終わりましたが、補完工事と暗渠排水工事を残していますので、協議を進めながら実施していきます。これと合わせて、五年度換地処分登記実施のための事務手続きを進めますが、早期に登記がめでたく終わるよう皆様のご協力を切にお願いします。

○能登瀨工区

昭和六十年から長い年月の事業でした。昨年は確定測量が完了し、評価基準書による一筆毎の土地評価、清算方法の打合せを役員諸氏の連日の会議のうえ地権者総会を九月に終り清算方法が決定、十月の換地会議を経て清算金の徴収・支払が完了、これから暗渠排水を中心とした補完工事を実施し、二月には法務局登記作業に入ります。

○番場工区

工区役員の皆様を中心として全地権者各位の一致協力のなかに作業が進行しています。完工の日が待たれます。

ましたが、日照りのお陰(?)で見事な収穫の秋となりました。湖水の恵みに感謝しつつ近代的な農業の基盤が仕上がります。今後の発展が期待されます。確定測量のコンクリート杭打ちを終わり測量作業と、暗渠排水など補完作業が進められています。五年度は換地処分登記を実施します。また、二基ある関電の鉄柱を二月に撤去されることになりました。新しいまちづくりのため完了へむけての一致協力を切に望みます。

○西円寺工区

工区で最後の着工となった讃岐地区は、川森組が仕上げ作業に入っています。草が繁り、湿田の谷間が見違えるように整地され、農道



工事進む讃岐地先 ▶

と排水路、用水吐出口を起点とする用水路を完備して着々と新しい姿が生まれつつあります。本年は暗渠排水や杭打ちのあと十二月には確定測量を実施し処分登記は六年度に なります。

○寺倉工区

暗渠排水工事の最盛りで本 田建設が実施中です。国道から番場へ通ずる町道の舗装は 昨年来多くの人々が待望してき ましたがいよいよ西尾土建が 実施します。関電の鉄柱三基 を二月に撤去されることにな りました。確定測量は済んで いますが、町界変更があり県 への手続きのため、登記は五 年度早々になります。

○岩脇工区

第一工区は、春の完成へ向 けて最後の追込みに入り、同 時に、天の川への排水口の取 付けと、ゲートの据付けも三 月完成へ順調に進行中です。 第二工区（東海道上り線の国 道側）は松塚工務店が六月末 工期でとりこんでいます。 第三工区（上り線の北側）は 三月頃発注し年内の工期で施 工される見込みです。

○新庄箕浦戸工区

三月登記へむけて最後の事 務的仕上げ作業に入っていま す。各支部ごとに換地清算金

を決定し、この受渡しや換地 処分実施のための手続きが進 んでいます。補完工事も併せ て実施中です。

平成3年度一般会計・特別 会計の各收支決算がまとまり、 まず庶務会計委員会に提出、 次いで第三回理事事に報告、 承認を受けました。

平成3年度の会計決算状況

これより先に、 監事会に於て各収 支状況、証拠書類、 財産目録、会計帳 表類の細部にわた る監査を受け、す べて正当と認めら れました。

一般会計では、 収入総額七億九千 七百万円、支出七 億八千四百九十万 円、引一億三千三 百万円を四年度へ繰り越し ました。 収入の主なもの では、一般、かん 排経常費賦課金四 千九百九十九万 円、ほ場 整備事業費賦課（償還元利金） 四九三九万円で対前年二七三 万円の増となり事業面積拡大 を示し、これらの徴収率は九 九・六〇八％となっています。 各地域の皆さんの御協力に対

し深く感謝申し上げます。未 収については問題点の把握を 行いながら徴収の努力を続け ています。

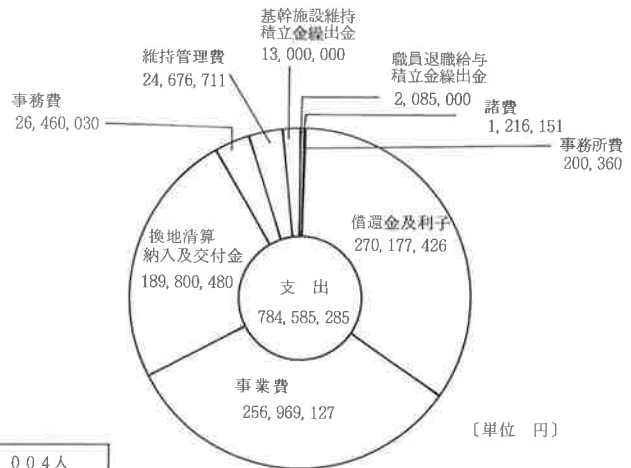
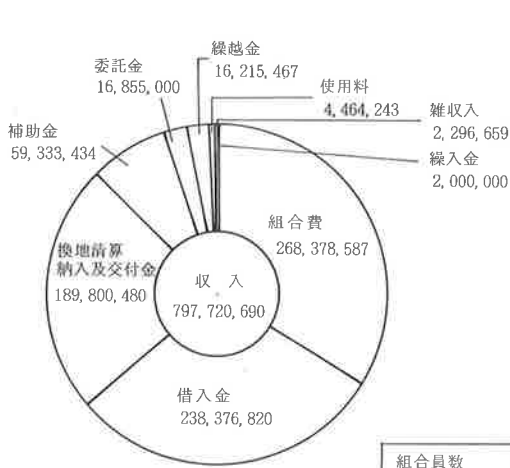
繰上一括償還金は世継・長 沢ほか四工区で合計一億七三 七八万円の申出を受け付け返 済しました。

補助金は、両町から換地事 務に対し一〇二一〇七万円、かん 排事業に二九一〇七万円、ほ場 整備に対し一六〇七万円その 他を受けています。

借入金金は農林漁業金融公庫 から二億三三八七万円を借入 れ、ほ場整備（西部南・東部 ・東部南）とかん排事業の地 元負担分として県へ納入し、 又、換地事務委託金一六八五 万円を県から受け、換地処分 等事務費に充当しました。

換地清算は、世継、上多良、 蒲原、高溝顔戸の四工区で実 施、九四九〇万円の清算金出 入がありました。

支出の部では、事務費二六 四六万で昨年より二六四万円の 減、予算に対し一六四万の 減となり、維持管理費の内、 電力費が一三七一〇円で昨年 より一六二万円の増と面積拡大 と共に年々増加し、修理費も 送水管の故障が増加したため 八八万円の達し、今後更に増 加が予想されます。人件費は



組合員数 2,004人
地区総面積 774.6ha
(H4.4.1現在)

〔単位 円〕

七三一万円で電力費に次いで大きく、ほかに河川清掃補助金六五万、修理費、負担金を支出しています。

事務費償還金は、繰り上げ一括償還を含め二億七〇一七万円の元利金を納入しました。諸費として賦課金徴収手数料一二〇万円や、基幹施設維持管理積立金へ一三〇〇万円を繰り出しました。

特別会計では

農地転用関係で決済金収入が一〇九九万円あり、この内繰り上げ償還元利金七五八万円を支出、残りを返済準備金として積立て、利子収入の内二〇〇万円を一般会計へ繰り入れました。

土地改良施設財産処分会計では、旧逆水吐出用地の建設省買収や、びわた川小ポンプ場跡地買却など七九九万円の収入があり、びわた川沿い小ポンプ場撤去費など一七一万円を支出、残りを積立金とし、残る旧施設の撤去費に充てます。

借入金残高は平成四年五月末現在一五億九三三三万円(全部長期)で、対前年四七〇六万円の純増となりました。(全額農林漁業金融公庫、利率三・五%、六・五%)

ことしの揚

西円寺全域通水範囲に
水管理制御施設始動

平成四年は、夏渇水期には全域にわたり隔日配水か、と心配をしていますが、皆さんの節水意識の高揚と天候とが幸いしてその必要なく切り抜けることができました。

面積が三年度より増加のためポンプ運転台数も全期間を通じて増となり、従って電力費は、対前年同期より二二九万余円の増加となりました。三年度、四年度連続して毎年二百万円余りの増加です。運転日は当初計画の通り実施できました。

本年は、運転計画は昨年と同様の日程により実施したいと考えていますが、配水面積が昨年よりも十四ha増加と契約電力量の変更が必要であり

場、内、整備、す、む、かん排、地、揚、水、機、場

— 修景保全対策事業と合わせ実施 —

揚水機場着工から七年を経過し、毎年、場内の除草と清掃に手を焼いてきました。地盤も大体落ち着き、かん排事業も完成の域に達し、最後に場内の整備をすることになり、萩原組の手で舗装と植樹が行

揚水費は更に増加します。

本年からは各分水工の水使用量の記録が正確になり、データとして保存し、将来、いろいろな面で参考にしたいと思えます。

- 水のかけ流しをやめる
 - 漏水を防ぐ
 - 濁り水を流さない
- 三つの努力を強くお願いして経費の節約につとめてほしいのです。

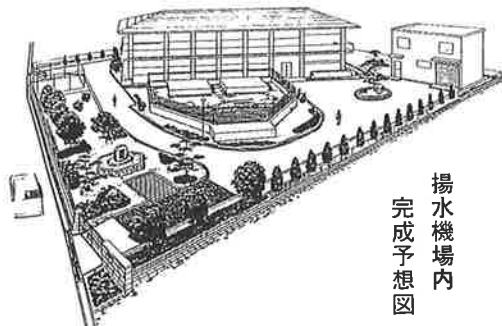
揚水調整委員会については、昨年から見直しの意見が出ています。組織と機能の面で見直しを求められています。任期を迎えており、集中制御施設が完成することでもあり、理事会で検討することになっています。

役員改選

四月から四年任期

当改良区役員(理事・監事)の任期が本年三月末で満了します。改選にあたり各大字へ適任者の推せんを依頼しています。三月(予定)の総代会で新役員三十二名の選任を行い、四年の任期で、新しい時代の農村振興のため重要な職責を果たして頂くことになり、各地区ともよろしくお願ひします。

一角に記念碑の建設を五年度に予定し、かん排の基地としての体面を整えます。



揚水機場内
完成予想図

われています。通路の両側に縁石を並べて舗装し、敷地の回りは植樹、植込みの木々は体裁よく配置し、その間を芝生と菫のヒゲで覆います。通用門を整備し、敷地内の

編集後記

穏やかな天候のなかで平成五年が明け、皇太子妃決定の目出たい年、豊かで幸せな年でありますように。

海外(タンザニアと中国)から一日研修生を受け入れて感じたことは、農は国の基の精神を貫き、母国繁栄の原動力たらんとする気概と、異国の地にあってもイスラムの戒律を厳しく守り食事前には東方を向いて敬虔な祈りを捧げる姿に「感謝する」気持ちの大切さを教えられ、又、中国の劉女史は、十二億の人民の主食を自給している自信の中に農業生産をいかに効率的にするか、すべての問題点にチャレンジしようとする一児の母親ながら真剣な姿に打たれる。カヤとランプ生活の人もある国の若いエリートたちがすべてを吸収して帰り、安くてウマイ米を供給し始めたとき、豊かで不自由のない生活に堪れ過ぎた日本人の将来は……と考えたとき、大寒の寒さを感じた。今年も冬寒く、夏暑く豊潤な明るい年であるように乞願。